

御殿場市
御議

陸自駒門駐屯地

継続的活用へ
意見書
可決

御殿場市議会3月定例会は12日、本会議を開き、平成27年度特別会計当初予算案など8議案を原案通りに可決し、27年度市一般・特別会計当初予算案5議案の質疑を行った。

議員発議で「市駒門駐屯地と周辺施設などの継続的活用を求める意見書」案が上程され、可決した。意見書は今年度版

防衛白書、新防衛大綱で、今年度から30年度までの中期防衛力整備計画で陸上自衛隊駒門駐屯地（御殿場市駒門）の部隊が大幅に削減・廃止される予定などを受けた。内容は「市は現在、自衛隊と共存しながらまちづくりを行っている。地域に貢献する自衛隊に深い理解を示し、各行事や災害派遣などを通じ、自衛隊と深いつながりを持つべきだ。部隊の削減・廃止などに伴う駐屯地の隊員減少は、地域経済の低迷・まちづくりの基本を覆され、地域コミュニティー

の維持・活性化に極めて大きな影響を与える。地域と不可分の関係があり、隣接する良好な訓練環境に恵まれ、大規模災害時の防災拠点として重要な駒門駐屯地と周辺施設などの継続的活用のため、適切な部隊の配置など最大限の配慮を要望する」としている。意見書は安倍晋三内閣総理大臣、防衛大臣など関係閣僚に提出される。

駒門駐屯地は現在、国連平和維持活動（PKO）などで世界平和の実現に貢献している国際活動教育隊、機甲教育隊、戦車部隊、高射特科部隊、施設部隊、整備部隊、業務隊などが所属し、隊員数は約930人。

本会議終了後、予算決算委員会が開かれ、27年度一般・特別会計当初予算案5議案が各分科会に付託された。

